



2008年8月5日

クラブ製造業者宛 告知

---

### クラブフェースマーキングとスピン発生

ドライビングクラブとパター以外のすべてのクラブにおいて、溝の容積と縁の鋭さを制限するようにゴルフ規則付属規則II,5cを変更することを提案した2007年2月27日付の告知（別紙参照）に加えてご連絡いたします。クラブ製造業者やその他の関係者から寄せられたすべてのコメントを十分に評価、検討する機会をもった上で、この告知の中で述べられている若干の修正箇所があるものの、2010年1月1日より効力を有し、この提案を採用することに決定したことをご確認いただきたいと思えます。

受け取ったコメントは私たちがこの提案を検討する際に極めて有益なものであり、その性質は様々でしたが、細部には多くの建設的なコメントがありました。当初の提案に一連の修正を行うことにより、クラブ製造業者とゴルファーにもより受け入れやすいものになったものの、この最終案はその目的を達成することにR&Aは満足しています。

2002年5月にR&AとUSGAから共同で発表された原則の共同声明の中で、技量よりも技術革新に過度に頼りすぎることを防ぎ、技量がゲームを通じての成功の主要な決定要因であることを確保したいと私たちは願っているということが強調されました。この新しい規則は、私たちのスピン発生研究の結果と、そうした重要な原則を十分考慮して達成されたものです。

### 新しい規則

クラブフェースマーキングについてのこの新しい規則は、2010年1月1日から効力を有し、ドライビングクラブとパター以外のクラブについて次の2つの追加の仕様を含みます：

- ・溝の横断面の総面積を溝のピッチ（幅＋間隔）で除した値は0.003スクエアインチ/インチ（0.0762 mm<sup>2</sup>/mm）に制限される。
- ・溝の縁の鋭さは有効最小半径0.010インチ（0.254 mm）に制限する。この制限はロフト角25度以上のクラブにだけ適用される。

より詳細な情報は、この告知文に添付されている「インパクトエリアマーキング測定手続き」を参照してください。

### 当初の提案への修正点

受け取った様々なコメントに応じて、当初の提案へ下記の修正を行うことが決定しました：

1. この新しい規則は、2009年1月1日からではなく、2010年1月1日から効力を有する。
2. 容積（面積/ピッチ）の制限は、0.0025スクエアインチ/インチではなく、0.003スクエアインチ/インチとする。
3. 溝の縁の鋭さの制限はロフト角25度よりも小さいクラブには適用されないが、そうしたクラブ（ドライバーとパターを除く）は面積/ピッチの制限の対象となる。
4. クラブについて適合性の裁定を行う方法は、添付文書にもあるように、裁定が確固たるもので正確であることを確保することになる公差や許容差を含む。

5. 主要なプロフェッショナルツアーでプレーするゴルファーとその他の「エキスパートプレーヤー」との間を（初めて）区別することで、非常に緩やかな段階的導入が採用されている。
6. エリートレベルでない競技でプレーするゴルファーたちのために、2020年に再検討することになるが（それ以前の見直しはしない）、現行のクラブを引き続き使用できる期間を最短でも15年間は保証している（2024年まで）。

## 施行

この新しい規則は以下のプロセスによって段階的に導入されます：

- 2010年1月1日から効力を有して、主要なプロフェッショナルツアー（PGA ツアー国際連盟に加盟しているツアーや女子プロツアー、その他同等の組織）だけが、新しい規則に適合しているクラブの使用を求める競技の条件を採用することを目的としています。この競技の条件の使用は、初期段階では非常に制約されることとなります。
- 2014年1月1日から効力を有して、この競技の条件はより幅広い競技主催者に利用可能となり、「エキスパートプレーヤー」が参加するすべての競技（プロフェッショナルの下部ツアーとエリートアマチュア競技）を含みます。この時点になって初めて、この競技の条件は主要なプロフェッショナルツアー以外の競技に影響を与え始めることとなります。
- 2010年1月1日以降に製造されるすべてのクラブ（ドライバーとパターを除いて）はクラブフェースマーキングの新しい仕様の対象となります。2010年よりも前に製造されたクラブで新しい規則には適合していないが現行の規則に適合しているものは、委員会がその使用を認めない競技の条件を導入している場合を除いて（上記参照）、引き続きゲームで使用することができます。エリートレベルでない競技でプレーするゴルファーがそうした古いクラブの使用を止めなければならないのかどうかの最終決定は将来になされますが、一定の最低限の時間スケールは保証されています：第一に、この状況が2020年よりも前に見直されることはないこと、第二に、いかなる規則変更もその施行までに最低限4年の期間を有すること。もちろん、既存のクラブの中にはこの新しい規定に適合するものもあり、そうしたものは引き続き制限なく使用することができます。上記の規定は、大多数のゴルファーがその他の「古いクラブ」（2010年より前のモデルで新しい規則には適合していないもの）を、少なくとも2024年までは（それ以上延長されなかったとしても）引き続き使用することができることを裏付けています。

誤解を避けるために、多くの既存のクラブはこの新しい仕様に適合しないであろうという事実により、その他の競技（溝についての競技の条件でカバーされていないすべての競技）の委員会は、2010年1月1日より前に製造された該当するクラブについて、こうした新しい仕様を排除する権限が与えられており、またそうすることが奨励されるでしょう。

私たちの慣行により、新しい規則に対して各社の製品の溝が評価されることを可能とするために、既存のクラブや新しいクラブのサンプルをR&Aに提出することをクラブ製造業者に奨励します。

敬具



デービッド・リックマン  
規則・用具ディレクター